

仏像の種類と特徴 —古代の仏像を中心として—

クラス
コード **62A24**

曜日時間 土曜10:45~12:15

受講料 12,600円

定員 30名

単位 1単位

概要 仏像と出会う時、その美しさ、慈愛の表情だけではなく、多くの要素から感動します。まず、どのような仏像があるか、仏像の種類の概略をお話し、その後、形式や素材によって異なる様子を、古代の仏像を中心に見ていきます。

講師 岩崎 和子

美術史家 博士(学術) 専門/美術史 とくに日本・朝鮮の弥勒など仏像の比較研究
お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了。
元東京成徳大学教授。『仏像がわかる本』(淡交社)、
『仏像のやさしい見方』(主婦と生活社)など仏像をわかりやすく解説する本を執筆

テキスト プリントを配付します

内容 5月19日~6月23日(全6回)

- ① 5月19日 仏像とは仏さまの像。その中には如来、菩薩、明王、天などの種類があります
- ② 5月26日 仏像の形にはいろいろな決まりがあります。1回目について、姿勢や手の形に注目します
- ③ 6月2日 特徴的な姿勢をとる半跏思惟像とは。その意味と性格を考えます
- ④ 6月9日 仏像の広がりを見鳥時代から白鳳、天平時代の金銅仏を中心に見ていきます
- ⑤ 6月16日 いろいろな素材の仏像。木像、塑像、乾漆像等材料も様々あります
- ⑥ 6月23日 日本の仏像でもっとも多いのが木の仏像。一木造りと寄木造り



「千手観音菩薩像」
千手寺(大阪)蔵